

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170500021		
法人名	社会福祉法人 鶴丸会		
事業所名	グループホーム ユートピア		
所在地	伊万里市大川町大川野字赤坂1647番地		
自己評価作成日	平成27年10月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成27年10月23日	外部評価確定日	平成27年12月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

【理念】
ありのままに 穏やかに
ゆったりと楽しく自由に
残された力で 暮らしの喜びと自由を
地域の方達との交流

周囲を山や田んぼに囲まれた恵まれた環境の中、お世話型から自立型へ…を合言葉に、入居者が持っている力を
なるだけ生かして行くケアを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所には同法人施設が隣接していることも強みである。デイサービス利用者が知り合いを訪ねて来ることもある。車椅子対応車両での外出が可能のため、ベッドで過ごすことが多い利用者にはまずリビングまで、更に戸外へという考え方のもと支援に努めている。職員のアイデアや想いも徐々に広がりつつある。また、敷地内で採れたサツマイモをメインに収穫祭を企画し、健康講座なども同時に開催するのは、ただ地域住民を招くだけではなく、事業所の持つ知識と経験を還元できればという想いの表れである。

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関に表示しており、職員一人一人が認識し日々のケアの中で実践している。	理念は玄関に表示しており、職員一人一人が認識し日々のケアの中で実践している。	理念は開所当時の管理者や職員によって作り上げられたものである。その後、「地域の方達との交流」が追加され、地域の一員として溶け込み、根ざしていこうという想いがうかがえる。玄関やリビングなど目に付きやすい場所に掲示しており職員の意識への浸透を図っている。日々のケアで職員が利用者や接する姿勢や、地域と関わっている様子にそれが活かされているのが分かる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	小・中学校や町の行事への参加等、積極的に行っている。 施設広報誌を区の全世帯へ配布	小・中学校や町の行事への参加等、積極的に行っている。 施設広報誌を区の全世帯へ配布	地域に馴染んでいこうとする想いは理念にも表れている。季節ごとのホーム便りを回覧ではなく区内全戸に配布していることもその例である。また、敷地内で採れた作物で収穫祭を企画し、地域住民とも交流を図ろうとしている。地域のイベント事には利用者も一緒に出掛けているが、今後は清掃活動等にも積極的に参加していく考えである。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に地区の区長様や民生委員様に参加頂いており、夜間想定での防火訓練に地区住民や消防団の方にも参加を頂いている。	運営推進会議に地区の区長様や民生委員様に参加頂いており、夜間想定での防火訓練に地区住民や消防団の方にも参加を頂いている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2カ月毎に確実に開催し、地域の住民や消防団、入居者の家族にも多数参加頂いている。運営推進会議で出された意見を元にサービスの向上に努めている。	運営推進会議は、2カ月毎に確実に開催し、地域の住民や消防団、入居者の家族にも多数参加頂いている。運営推進会議で出された意見を元にサービスの向上に努めている。	運営推進会議を外部的の方の目が入る貴重な機会と捉え、意見交換も活発に行われている。メンバーそれぞれの立場からの情報は、地元の紅葉スポットであったり、防犯の心得であったりと多岐に渡り、出席者にとっても有意義な時間となっている。1年間の交替制で家族にも出席をお願いし、直に事業所に関わる者としての意見にも期待している。出された意見はサービス向上へとつなげている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の担当者が、運営推進会議のメンバーでもある為、意見を聞いたり相談事にも応じて頂けたりと連携は取れている。	市の担当者が、運営推進会議のメンバーでもある為、意見を聞いたり相談事にも応じて頂けたりと連携は取れている。	日頃から顔なじみであるため電話も掛けやすく、問い合わせ等も気軽に出来ている。異動で担当が替わればすぐに連絡もあり、実直に対応してもらえる関係が築けている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を立ち上げ、毎月のミーティング時に身体拘束に関しての話し合いを行い実践している。	身体拘束委員会を立ち上げ、毎月のミーティング時に身体拘束に関しての話し合いを行い実践している。	全ての職員は身体拘束の内容やその弊害を理解している。指針もあり、家族には入居時に説明も行っている。毎月の職員会議では具体例を挙げながら対策を検討し、身体拘束をしないケアの実践に努めている。玄関に施錠は無く、利用者の行動を抑えることもない。職員は目配りや連携により利用者の安全を確保するケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティング時や、日々のケアの中でも話し合いを行っている。 虐待防止の研修への参加も検討する。	ミーティング時や、日々のケアの中でも話し合いを行っている。 虐待防止の研修への参加も検討する。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員一人一人が学ぶ意識を持ち、今後研修等の予定があれば参加する。	職員一人一人が学ぶ意識を持ち、今後研修等の予定があれば参加する。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居申し込みの際、十分な説明を行い、施設見学をして頂き、契約行って頂いている	入居申し込みの際、十分な説明を行い、施設見学をして頂き、契約行って頂いている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。 家族様来訪時は、普段の様子等お伝えし、家族様の意向を聞くよう心掛けています。 今年度は、2回の家族会を実施している。	玄関に意見箱を設置している。 家族様来訪時は、普段の様子等お伝えし、家族様の意向を聞くよう心掛けています。 今年度は、2回の家族会を実施している。	ご意見箱を置いてはいるが、直に話してもらおうための努力もしている。毎月の利用料をあえて持参いただくこととし、家族の来所を促すことで、そこから想いを汲み取ろうとしている。来所の際には、少しでも話しやすいように声を掛けたり、日常の様子を伝えながら忌憚のない意見も貰えるよう努めている。事業所の外に意見や苦情の窓口があることは書類に明記され説明も行っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に1度は、施設長、管理者を交えた面談を行っている。	年に1度は、施設長、管理者を交えた面談を行っている。	毎月、全体会議の他にユニット毎の職員会議も行っている。これには管理者は入らず職員のみで議事進行し、非番者も出来るだけ出席している。管理者は現場の職員が感じていることや意見の重要性を理解しており、出された意見等には真摯に耳を傾けようとしている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得や、各研修への参加を促している。	資格取得や、各研修への参加を促している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に1度の施設内勉強会や、法人内の研修等へも参加している。	月に1度の施設内勉強会や、法人内の研修等へも参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国認知症グループホーム協会佐賀県支部に加入し、他のグループホームとの交流を持つ事でサービスの質の向上を目指している。	全国認知症グループホーム協会佐賀県支部に加入し、他のグループホームとの交流を持つ事でサービスの質の向上を目指している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者の話を傾聴し、安心感を与えるような声掛けを心掛けている。	入居者の話を傾聴し、安心感を与えるような声掛けを心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期面接時には、なるべく詳しい本人様の情報を聴取し、家族様の意向を汲みとるよう留意している。	初期面接時には、なるべく詳しい本人様の情報を聴取し、家族様の意向を汲みとるよう留意している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様、家族様の意向を重視し、サービスの検討を行っている。	本人様、家族様の意向を重視し、サービスの検討を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日の介護の中で、これまでやってきた事を思い出すような声掛けを行いながら、一緒に出来る事を行うよう心掛けている。	入居者の『出来る事』に着目し、自分で出来る事を見守りの中で行っている。		

自己	外部	項目	自己評価/ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価/ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事を行う時は案内の文書を郵送し、家族様に出来る支援をお願いしたりしている。	行事を行う時は案内の文書を郵送し、家族様に出来る支援をお願いしたりしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	デイサービスの行事に参加したり、受診やドライブ時には自宅の近くを通ったりしている。	デイサービスの行事に参加したり、受診やドライブ時には自宅の近くを通ったりしている。	入居時には、家族やそれまで利用していた施設、担当のケアマネージャーからも話を聞き情報を集めている。また、職員も地元に住む者は普段の生活で家族と会うこともあり話をしている。理美容院は訪問サービスの利用になるが、お正月やお盆、墓参りなど本人が希望すればそれに沿えるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の中で、職員が間に入りながら良好なコミュニケーションが取れるよう支援している。	見守りの中で、入居者同士のコミュニケーションが取れている。必要な時は職員が間に入り支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院・退居の場合は、病院訪問時に面会に行ったり、連携室から情報を得たりしている。 町内で家族に会った際は様子を伺ったりしている。	入院・退居の場合は、病院訪問時に面会に行ったり、連携室から情報を得たりしている。 町内で家族に会った際は様子を伺ったりしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段の会話の中で、自分の思いや、今やりたい事等を聞き実践したりしている。 訴えない入居者様の場合は、家族様に本人様の好きだった事、得意だった事等を聞き出来る範囲で実践している。	普段の会話の中で、自分の思いや、今やりたい事等を聞き実践したりしている。 訴えない入居者様の場合は、家族様に本人様の好きだった事、得意だった事等を聞き出来る範囲で実践している。	日々のケアの中で利用者の想いを汲み取れるよう努めている。職員が隣に座り、ゆったりと話し相手をする時間の中では想いを聞けることも多い。それは記録簿に記され、職員間で共有され、介護計画へと反映されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、家族様への聞き取りを十分に 行い 意思疎通の出来る入居者に関しては、 普段の会話の中でも聞いたりしている。	入居時、家族様への聞き取りを十分に 行い 意思疎通の出来る入居者に関しては、 普段の会話の中でも聞いたりしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の『出来る』を重視し、一人一人の状態に合わせた支援を心掛けている。	入居者様の『出来る』を重視し、一人一人の状態に合わせた支援を心掛けている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族様の意向や、スタッフ間で行われる入居者様一人一人のカンファレンスを元に、支援経過の作成を行っている。	家族様の意向や、スタッフ間で行われる入居者様一人一人のカンファレンスを元に、支援経過の作成を行っている。	様々な場面で得た情報や希望をもとに介護計画が作られている。事業所独自の記入様式が基になっているが、今後は統一された様式の計画書等を活かそうとしている。「入居者にとって」をキーワードに、臨機応変に見直す姿勢もある。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録を共有し、職員間で申し送りを十分に行いながら実践出来ている。	ケース記録を共有し、職員間で申し送りを十分に行いながら実践出来ている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	事業所内や法人内の施設とも連携を取り柔軟な支援が出来るよう取り組んでいる。	事業所内や法人内の施設とも連携を取り柔軟な支援が出来るよう取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内行事の見学へ出向くことで、親戚の方や、顔見知りの方と野ふれあいを持つよう支援している。	町内行事の見学へ出向くことで、親戚の方や、顔見知りの方と野ふれあいを持つよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的受診、又は突発的な受診に関しても施設スタッフで対応し、家族様への報告を行っている。 入居者一人一人のかかりつけ医との連携も取っている。	定期的受診、又は突発的な受診に関しても施設スタッフで対応し、家族様への報告を行っている。 入居者一人一人のかかりつけ医との連携も取っている。	入居前からのかかりつけ医を継続されている方も多く、馴染みの医師による継続的な医療が受けられるよう支援している。また、状況に応じて希望する医療が受けられるようにも努めている。受診には必ず職員が同行し、その結果は当日中に家族に報告されている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	365日24時間対応で訪問看護師に協力が得られている。 月に1度はスタッフも交え、訪問看護師との話し合いも持っている。	365日24時間対応で訪問看護師に協力が得られている。 月に1度はスタッフも交え、訪問看護師との話し合いも持っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、情報提供を文書で行い、病院連携室との連携も取れている。	入院時は、情報提供を文書で行い、病院連携室との連携も取れている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期のあり方については、家族様の意向を十分尊重し、話し合いを重ねながらより良い支援が出来るよう取り組んでいる。	終末期のあり方については、家族様の意向を十分尊重し、話し合いを重ねながらより良い支援が出来るよう取り組んでいる。	これまでに看取りの経験があり、今後も希望があればその用意はある。入居時の説明はもとより状況の変化に応じて、主に家族とは何度も話し合いを重ね、段階によって同意書もある。事業所は職員の力量や体制を見極めつつ、本人や家族が納得して最期を迎えられるよう支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急処置の研修(BLS研修)などに参加している。	救急処置の研修(BLS研修)などに参加している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な事業所内での訓練の実施と、地域住民や消防団員にも参加頂き、夜間想定での避難訓練を実施している。	定期的な事業所内での訓練の実施と、地域住民や消防団員にも参加頂き、夜間想定での避難訓練を実施している。	年2回、隣接する同法人施設と合同の訓練を行っている。消防署も立ち会つ中、地元消防団や住民の参加も得て、利用者も一緒に避難している。各居室の入り口には車椅子や歩行の様子を絵にしたカードが掛けてあり、外部の応援者にも介助の度合いが分かるようにしている。職員は、消火器や火災通報装置の使い方も承知しており、非常食や水の備蓄もある。訓練記録は整理され課題があれば速やかに改善し周知するようにしている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様には敬意をもって接し、職員一人一人が配慮を持った声掛けを心掛けている。	利用者様には敬意をもって接し、職員一人一人が配慮を持った声掛けを心掛けている。	年長者として敬意を払い、人前であからさまな介護をしないケアを徹底している。さりげなくトイレへ誘導したり、入浴時には羞恥心にも配慮しながら支援している。個人情報に対する職員の意識も高く、ホーム便り等への写真掲載、名前の公表には本人や家族の了承を得ている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員との普段の会話の中で、入居者様が思いを伝えられるよう配慮した声掛けを心掛けている。	職員との普段の会話の中で、入居者様が思いを伝えられるよう配慮した声掛けを心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先でなく、入居者様のペースで生活が出来るように努めている。	業務優先でなく、入居者様のペースで生活が出来るように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節や気温に応じた衣類や清潔感にも気を配った支援をしている。	季節や気温に応じた衣類や清潔感にも気を配った支援をしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様が食べ易い形態での食事の提供をしている。施設内の畑で採れた野菜が食材に使用されたりするので、入居者様と一緒に収穫に行ったりしている。	入居者様が食べ易い形態での食事の提供をしている。施設内の畑で採れた野菜が食材に使用されたりするので、入居者様と一緒に収穫に行ったりしている。	日曜と毎朝食以外は隣接する同法人デイサービスと一緒に調理している。事業所ではそれを利用者に合わせて形態で提供している。法人内の栄養士によって栄養価も計られ、また希望があればアルコールの提供もある。年を重ねるごとに体力の低下もあり、利用者も一緒に準備や片付けを行うことは難しくなっている。職員は介助の必要な利用者にも根気強く食を勧め、口を通して飲食をすることの大切さを実践している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様一人一人の食事摂取量や水分摂取量の観察と、状態に応じた支援を行っている。減塩食や油抜ききの食事の対応も行っている。	入居者様一人一人の食事摂取量や水分摂取量の観察と、状態に応じた支援を行っている。減塩食や油抜ききの食事の対応も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、全員に口腔ケアを確実にを行い、自分で出来る範囲は自分で行ってもらい、不十分な部分は支援している。夕食後、義歯は洗浄剤に浸けている。	毎食後、全員に口腔ケアを確実にを行い、自分で出来る範囲は自分で行ってもらい、不十分な部分は支援している。夕食後、義歯は洗浄剤に浸けている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用い、入居者様一人一人の排泄パターンの把握を行い、昼夜共に排泄誘導を行っている。	排泄チェック表を用い、入居者様一人一人の排泄パターンの把握を行い、昼夜共に排泄誘導を行っている。	可能な限りトイレでの排泄を大切にしている。自立した方の居室をトイレの近くにししたり、出来るだけポータブルトイレを使わないケアにも取り組んでいる。チェック表から排便も把握できるため便秘への対応も早い。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や腹部マッサージ、適度な運動等便秘予防に配慮している。	水分補給や腹部マッサージ、適度な運動等便秘予防に配慮している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	時間帯の希望に応じる事は難しいが、週3回の入浴を目安に、入居者様の状態に応じた入浴の支援を行っている。	時間帯の希望に応じる事は難しいが、週3回の入浴を目安に、入居者様の状態に応じた入浴の支援を行っている。入浴を施行しない日でも、足浴での対応が出来ている。	入浴は概ね週3回としているが、汗をかいたなど必要があればその都度対応している。拒む方には声掛けやタイミングをずらして入浴を促している。浴槽に入るのを助ける回転板を取り付けてはいるが、それでも困難な利用者には隣接施設の機械浴を使い、湯船に浸かりたい想いに応えている。冬場の脱衣場は温度管理され、衣服の脱ぎ着も出来るだけ本人に任せ羞恥心にも配慮した支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様が気持ち良く眠れる様、居室の温度調節や採光などにも気を配っている。	入居者様が気持ち良く眠れる様、居室の温度調節や採光などにも気を配っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	常に一番新しい薬情をファイルし、職員全員で共有し、入居者様一人一人の状態把握を心掛けている。	常に一番新しい薬情をファイルし、職員全員で共有し、入居者様一人一人の状態把握を心掛けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ホーム内で座って過ごすばかりではなく、散歩やドライブ等、なるべく外へ出かけて頂く支援を行っている。	ホーム内で座って過ごすばかりではなく、散歩やドライブ等、なるべく外へ出かけて頂く支援を行っている。散歩へ出かける時は、歩ける方が歩けない方の車いすを押して頂く等、役割を持つことで張り合いを持っていただけるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	入居者様の希望に沿った外出支援を心掛けている。	訴えがあった時には、個々でその都度対応するよう努めている。家族様にも協力頂き、外出や外泊等の支援も行っている。	戸外へは事前の計画ではなく、当日の天候や体調をみて出掛けることも多い。事業所の周囲が田園であるため利用者はゆったりと散歩も出来る。職員は、利用者が一日をベッドや居室で過ごすことが殆どであればまずリビングまで、そこから次は戸外へという想いで外出の機会も増やせればと考えている。外へ出てみるのが五感の刺激や睡眠にもよいことを理解しているからである。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つ事大切さは理解しているが、管理、支払い等は職員がしている。	お金を持つ事大切さは理解しているが、管理、支払い等は職員がしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が希望された時は、いつでも支援出来る体制を取っている。	本人が希望された時は、いつでも支援出来る体制を取っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間の温度や採光等に気を配り、壁面には季節やその月が感じられる様な飾りつけをしている。 家具の配置等も、入居者様の行動の妨げにならない様配慮している。	共有空間の温度や採光等に気を配り、壁面には季節やその月が感じられる様な飾りつけをしている。 家具の配置等も、入居者様の行動の妨げにならない様配慮している。	利用者が日中の殆どを過ごしリビングは、天窓から採光する棟と中庭に面した棟がある。どちらも程よい明るさで、長閑な田園の中に建つため騒音もない。壁の折り紙による飾りなどで季節を感じてもらえるよう配慮している。掃除では、手摺りなどを利用者が拭いてくれることもあり、きれいに片付けられている。廊下は広く、利用者の歩行に障害となる物もなくスムーズに通ることが出来る。トイレや浴室等もきれいに掃除され嫌な臭いもない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳のスペースがあるが、入居者様の利用は殆どない。	廊下の突き当たりの窓辺にソファを置いている。 時々そこで午睡をされたり、外を眺めながら談笑されたりしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドとタンスは備え付けられている。 入居時、本人様馴染の物は何でも持ち込んで良い事を説明している。	ベッドとタンスは備え付けられている。 入居時、本人様馴染の物は何でも持ち込んで良い事を説明している。	居室には、火気等の危険物以外に持ち込む品物に制限はしていない。掃除は殆ど職員が行うが、出来ることを手伝う利用者もいる。担当職員を決めており、居室に写真を飾ったり、衣替えの手配等を行っている。家族の希望があれば宿泊も可能である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物の構造を活かし、排泄が自立されている方の居室はトイレの近くにする等、「出来る事」を生かして行けるよう支援している。	建物の構造を活かし、排泄が自立されている方の居室はトイレの近くにする等、「出来る事」を生かして行けるよう支援している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)			1. ほぼ全ての利用者の
		○	○	2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)		○	1. ほぼ全ての利用者が
		○		2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)		○	1. ほぼ全ての利用者が
		○		2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)		○	1. ほぼ全ての利用者が
		○		2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
		○	○	3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない